

令和元年度活動報告及び収支決算について

I 令和元年度活動報告

1 機関誌の発行

機関誌「子ども樹木博士ニュース」を令和元年6月1日(No. 75)、9月1日(No. 76)、12月1日(No. 77)及び令和2年3月1日(No. 78)の4回発行(各回850～900部)し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県、関係団体等に配布した。

(参考)「子ども樹木博士ニュース」(No. 75～78)の掲載概要

No. 75

- 巻頭言：なぜ森林や樹木を学ぶのか？(井上 真理子)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 エゴノキの戦略(安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(13)(岩谷 美苗)
- 事例報告：たかつき環境市民会議 幸山グループにおける子ども樹木博士認定活動の取組 たかつき環境市民会議里山グループ学援隊
(杉山 正寿)
- シリーズⅠ：樹木名の話(13) —ウツギとウノハナ—(埴田 宏)
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(43) —ベトナムの街の大きな椰子—
(梅本 浩史)
- 子ども樹木博士質問コーナー(55)(寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：木平勇吉東京農工大学名誉教授にみどりの文学賞
当協議会が「みどりとふれあうフェスティバル」に出展

No. 76

- 巻頭言：国民参加による森林づくり、これまでも、これからも(斎藤 哲)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 ヤマイモの3つの戦略(安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(14)(岩谷 美苗)
- 事例報告：「みどりとふれあうフェスティバル」で子ども樹木博士を実施

ました (こども樹木博士認定活動推進協議会)

○シリーズⅠ：樹木名の話 (14) —グミってお菓子のこと— (埜田 宏)

○シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(44)—浜辺のハマゴウのお話—

(梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー (56) (寺嶋 嘉春)

○事務局だより：平成30年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況

No. 77

○巻頭言：スギ人工林の祖先の姿を追って (河原 輝彦)

○特集Ⅰ：植物の不思議 ツルの戦略 (安樂 行雄)

○特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (15) (岩谷 美苗)

○事例報告：島根の小学校と岩手の緑の少年団で子ども樹木博士

(岩谷 美苗)

○シリーズⅠ：樹木名の話 (15) —ヒイラギの葉は痛いよ— (埜田 宏)

○シリーズ：東南アジアの木々たち(45)—虹の遺跡バンタアイ・スレイ—

自然と植物の観察会 (梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー (57) (寺嶋 嘉春)

○事務局だより：令和元年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況

(令和元年11月23日現在)

No. 78

○巻頭言：森林環境教育の意義 —森のようえんから— (柳原 高文)

○特集Ⅰ：植物の不思議 シダ植物の苗作りの戦略 (安樂 行雄)

○特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (16) (岩谷 美苗)

○事例報告：千葉県森林インストラクター会の子ども樹木博士

(栗田 吉治)

○シリーズⅠ：樹木名の話(16)—トサミヅキとヒュウガミヅキ—(埜田 宏)

○シリーズ：東南アジアの木々たち(46)—南国のお化けこんにゃくの花—

(梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー (58) (寺嶋 嘉春)

○事務局だより：令和2年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程のお知らせ

2 認定活動等の実施状況

(1) 認定活動の推進

令和元年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ30回、参加人数で延べ約8百人（前年度は35回、約8百人）となっている。

また、地域ごとには、12都道府県で、20団体による実施（前年度は16都道府県、27団体による実施）となっている。

(2) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、1,005枚（前年度876枚）となっている。

（注）認定証にはA5サイズと名刺サイズの2種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

(3) 「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は197冊（前年度195冊）となっている。

(4) 交流会の開催

令和元年5月11日及び12日、東京都日比谷公園において実施された「みどりとふれあうフェスティバル」に出展し、（一社）日本森林インストラクター協会の協力により、来場者を対象とした子ども樹木博士認定活動を実施した。森林インストラクター及び環境教育に取り組む大学生も説明者として参加した。

(5) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、（一社）日本森林インストラクター協会等と連携を図り、森林インストラクター等を紹介した。

また、令和元年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成 12～令和元年度に認定活動を実施したことのある団体は 44 都道府県で 337 団体（前年度は 44 都道府県で 331 団体）となっている。

(6) その他の活動等

資料請求のあった者に対し、冊子「認定活動の進め方」、パンフレット「子ども樹木博士のすすめ」などを配布した。

協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は http://www.shinrinreku.jp/kodomo_nintei/index.php】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

3 会員の状況

(1) 入会 個人会員 1 人

(2) 退会

退会の申出 個人会員 1 人

団体会員 1 団体

(3) 令和 2 年 3 月末

団体会員 19 団体（前年度：20 団体）

個人会員 66 人（前年度：66 人）

Ⅱ 令和元年度収支決算報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
(収入の部)				
1 会費収入	332,000	303,000	-29,000	
団体会員	200,000	190,000	-10,000	
個人会員	132,000	113,000	-19,000	
2 助成金収入	900,000	900,000	0	未収金
3 雑収入	130,005	126,796	-3,209	
認定証代金	30,000	27,650	-2,350	
樹木ガイド代金	100,000	99,145	-855	
受取利息	5	1	-4	
その他収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	1,362,005	1,329,796	-32,209	
前期繰越収支差額	1,811,638	1,811,638	0	
収入合計 (B)	3,173,643	3,141,434	-32,209	
(支出の部)				
1 会議費	70,000	28,024	-41,976	
総会費	50,000	28,024	-21,976	
その他の会議費	20,000	0	-20,000	
2 事業費	1,400,000	836,620	-563,380	
機関誌発行費	300,000	245,040	-54,960	
教材等作成費	800,000	423,900	-376,100	
推進活動費	300,000	167,680	-132,320	
3 事務費	1,040,000	1,046,047	6,047	
事務補助費	630,000	630,000	0	未払金
連絡通信費	100,000	166,136	66,136	
事務用品・コピー 雑費	290,000	240,000	-50,000	未払金
雑費	20,000	9,911	-10,089	
4 予備費	200,000	0	-200,000	
当期支出合計 (C)	2,710,000	1,910,691	-799,309	
当期収支差額 (A-C)	-1,347,995	-580,895	767,100	
次期繰越収支差額 (B-C)	463,643	1,230,743	767,100	